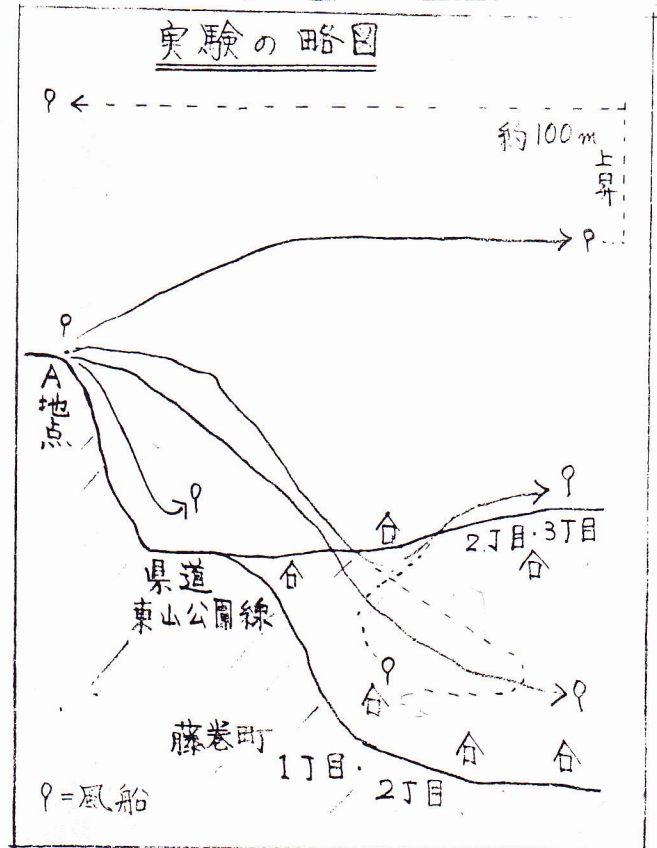
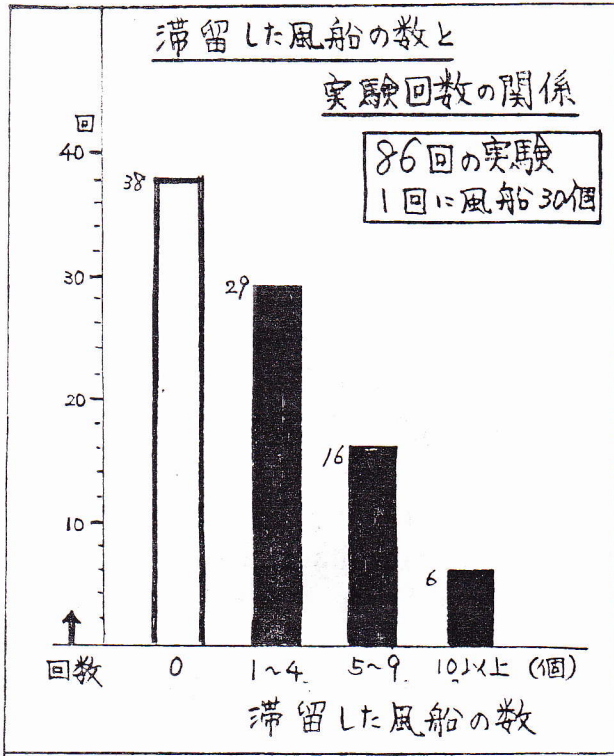


藤巻町に排ガスは滞留する

気流調査第3次報告

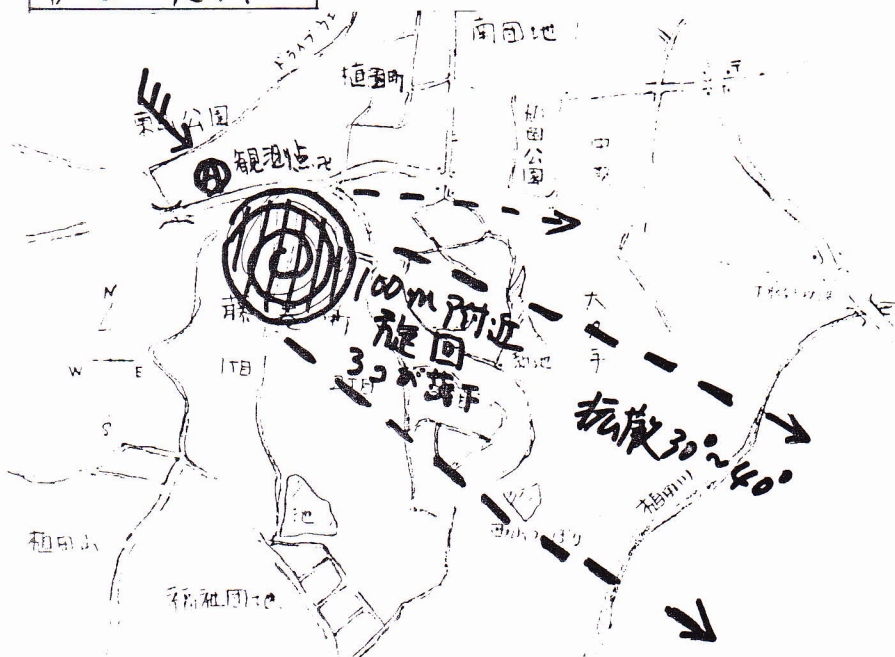
— 研究部 —

風船滞留状況 昭和51年~53年合計



- 実験回数約56%が藤巻町に風船の滞留が発生する
- 風が強い(4~5m/s)時でも滞留が発生する
- 相田高針線上で急上昇して、まったく逆の風に乗ってA点上空で北西に飛ぶことがある。
- 月に2~3日以上「危険」な日が発生するものと思われる。

最近の実例から



観測日時: 昭和54年3月11日06時15分
 天候: 快晴 気温6.0度 気圧999.8mb
 風向: 北西 風速3~5m 最大10m.
 風船飛行状況 (風船30個使用)

風速3~5m 最大10mで7回に分けて飛ばす。高度100~120m付近で上下旋回運動の後、約1分は1丁目と2丁目毎地で5~7分滞留。送流の後30分は地上に落下。その他は風に乗って南東方向へ飛ばす。一部は3丁目上空へ飛ばす。

割合風の強い日でも1丁目・2丁目に「ぶらぶら」がでるものと考えられる